

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13 33	重度の方や認知症の方への対応で、不安に感じている職員を中心とした全職員に、認知症介護の知識や対応方法、介護技術等について、学ぶ機会を設けるとともに、施設の役割も伝える必要がある。	職員が落ち着いて対応できる環境・体制作りを行う。定期的に学ぶ機会を設ける。(施設の役割も含め) 入居者様の状況に合わせて、受診や施設等も検討していく。法人内にクリニックがあるため、更なる医療との連携を図っていく。	職員会議の研修に介護技術や認知症の方の対応等について深く掘り下げて、実施する。 嘱託医や関係病院、特養などと連携し、入居者様が安心、安全に暮らせる場所、対応を検討する。	12ヶ月
2	3 35	非常災害時における施設内や地域との体制づくり。役割を明確にし、分かりやすく実際に動けるマニュアル作成を行う。また、訓練内容(垂直訓練の実施等)も見直していく。	運営推進会議で、随時発信し、地域の防災訓練等にも参加し、施設における役割・出来る事を明確にする。また、職員へも周知していく。 施設内の訓練も現実的な内容を実施する。	BCPの作成が義務付けられ、施設内でのマニュアルなどは作成しているが、どこまで現実的かの検証。地域との関りも含めて検討すると更に何が必要なのか、何がどこまで対応出来るのかを検討する。現実的な訓練を実施する。	12ヶ月
3	29 49	入居者様のADLの低下がみられるようになり、外に出ることが難しくなっている。ただ、施設内のイベントを楽しむだけではなく、外へ出ることで四季を感じたり、気分転換が出来るようなイベントを企画していく。	現在、ボランティア団体の方々の慰問も少しずつ再開し始めているので、外出時に参加していただけるようなボランティアの方なども依頼しつつ、多くの入居者様が外出して気分転換できるような企画を立て実施していく。	入居者様のADLを把握するとともに、行きたい外出先も確認し、毎月のイベントと合わせて、外出イベントも担当者を決めて企画する。	12ヶ月
4	3 10	運営推進会議への参加を毎回ご家族へ促すもなかなか参加していただけていない状況である。	毎回ではなくとも、年に1度は参加していただけるような働きかけをし、参加していただく。	ご家族へ、運営推進会議についてのアンケートなどで、参加できない理由やどのようにすると参加しやすいか等を聞き取りし、その内容を踏まえて、会議を開催する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。